

令和4年度シラバス（教科：家庭）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	ファッション造形基礎	単位数	2単位	学年（コース）	2年 福祉コース
使用教科書	実教出版「ファッション造形基礎」				
副教材等	文科省認定 家庭科技術検定（基礎編）問題集				

1 学習目標

ファッション造形に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、デザインや着用目的に適した被服材料を選択して被服を計画的に製作することができる能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ①洋服の構成や名称、縫製など、洋裁の基礎的内容について学習します。
- ②ミシンの扱い方や基本的な縫製技術の習得を目指します。
- ③実習を通して実践的な学習を進めていきます。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・被服検定4級作品（基礎縫い巾着） ・被服検定3級作品（アウターパンツ） 	教科書 検定問題集 検定型紙 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・被服検定4・3級合格を目指し、基本的・基礎的縫製技術を学習する。 ・被服の基本的知識を学ぶ。 	20	期末考査 製作作品 課題への取り組み
2 学期			<ul style="list-style-type: none"> ・採寸の方法、立体構成についての知識を深める。 ・基本的、基礎的縫製技術を学習する。 ・アウターパンツの製作を通して日常着に必要な要素について学ぶ。 ・被服の材料の種類、見分け方、特徴 など実習を通して学習する。 ・ミシン、ロックミシン、ゴム通しの方法の理解。 	29	期末考査 製作作品 課題への取り組み
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の素材 		<ul style="list-style-type: none"> ・余り布などを用いて、福祉現場でも活用できるような小物を製作する。（例：手芸小物など） 	15	期末考査 製作作品 課題への取り組み

計 64時間（55分授業）

4 課題・提出物

課題作品を完成させて提出します。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
被服材料・被服の構成、被服製作、被服整理などの衣生活の科学と文化に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	被服材料、被服の構成、被服製作などについて課題をみつけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断できる。	衣生活が充実向上するために必要な被服製作や被服計画・被服整理などの基本的・基礎的技術を身に付けている。	被服材料、被服の構成被服製作、被服整理などについて科学的に理解し、心豊かで充実した衣生活を営むために必要な基礎的・基本的知識を身に付けている。

以上の観点を踏まえ、
 ○定期考査 ○授業・実習への取り組み ○提出物 ○出欠
 などを総合的に評価します。

6 担当者から一言

実習中心の授業です。作業段階ごとに授業を進めていくため、欠席した場合や進度が遅れた場合は放課後など授業外の時間に作業を進めておく必要があります。